

この子の

フレンチブルドッグをよりよく知るために、
子犬時代からフェアリー期までの生活を
「一年ごと」にポップアップ。

その年齢にジャストフィットする食事やケア、
気をつけるべき病気などはもちろんのこと、
フレブルマスターからの超レアな
アドバイスも満載。

ひとつ年齢を重ねるたびに
わが子が愛しくなる、
フレンチブルドッグ生活の
マスターブックです！

Lifetime
一生。

年齢別

**マスター
ブック**

*Master book which was
explained by age*



子犬のころも、あったよね。



なんてカワイイんだ。



協力／フレンチブルドッグ専門犬舎「グラマラスドッグ」

グラマラスドッグは、アメリカンタイプのフレンチブルドッグ専門ブリーダー。犬舎で管理している犬たちは、海外・国内のチャンピオン犬、もしくはチャンピオン直子で、一般ペットショップの犬とは一線を画している。

お問い合わせ／info@french-couture.jp

☎ 090-4193-0702





子犬にとって
大切なこと。

1

歳未満

解説



羽田悠一郎（はつん）

フレンチブルドッグ専門「ZAIHOO（ザイホー）」代表

長年のパートナーとして「犬質」にこだわったフレンチブルドッグの子犬・若犬を紹介するフレンチブルドッグ専門店の代表。自身のドッグショーやブリーディングの経験から知り合ったフレンチブルドッグ専門のショーブリーダーと提携。自身の目で選んだ「良質な子犬」を紹介することにこだわりをもつ。



山中健介

プロハンドラー

フレンチブルドッグに携わって15年以上。その他にロットワイラーも長年にわたりブリーディング。現在ではショーハンドラーとしてフレンチブルドッグを中心に活動しつつ、自らも6頭のフレンチブルを所有している。犬舎名は「LINDAS」。

子

犬は、平均して生後2ヶ月
〜3ヶ月くらいであなたの
お家に迎え入れられることが多いの
ではないかと思えます。子犬を迎え
たその日からあなたのフレブルライ
フが始まり、子犬にとっても新し
い環境での人間ライフが始まりま
す。迎え入れたその日はうれしく
て、きつとお互いが興奮しています
よね。可愛くて可愛くて、ずっと見
ていたくて、ずっと触っていたくて、
ついつい子犬が疲れるまでかまって
しまうかもしれません。しかしそこ
は少し我慢して、遊ぶのはほどほど
にして、ご飯を食べてくれたらゆっ
くり寝かせてあげてください。子犬
にとって睡眠はとても大事です。で
きればブリーダーさん宅での生活の
リズムを確認しておき、最初のうち
は、ご飯の時間や睡眠の時間もそれ
に近い状態にしてあげてください。

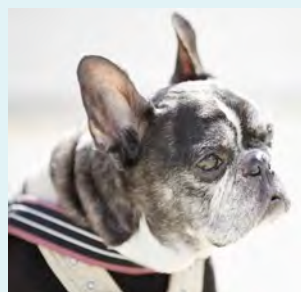
迎え入れた初日によくある間違い
で、小さなお子さんがいるご家庭に
多いのですが、楽しくて子犬が疲れ
きるまで遊んで、睡眠時間が短くな
ってしまうパターンがあります。こ
れが原因で、次の日から子犬の下痢
がはじまってしまうことがあるので
す。そうでなくても、子犬は新しい
環境というストレスから1週間くら
い軟便になることが多いですから、
かまいすぎには注意しましょう。も
ちろんケージに長い時間入れておい
たほうがいい、ということではあり
ません。遊ぶ時間、ご飯の時間、睡
眠の時間と、飼い主さん主導でメリ

別冊

17歳6ヶ月と

2日生きた、

珊瑚の物語



0歳

珍犬「珊瑚」との出会い

2001年9月9日、偶然立ち
寄ったペットショップの「珍犬」
の札がかかったケース、中には黒
白のからだでお耳をピンと尖ら
せた、大きな目をしたおてんばそ
うな小さな女の子。店員さんに促
されるまま抱っこすると、手や顔
をフレンドリーになめまくる素晴
らしい営業力！すっかりこの仔
犬のトリコとなり、その場で連れ
て帰ることに。

自宅に向かう車内で命名会議。
いくつか候補が出るなか、夫の提
案を一度は却下したものの、徐々
にじんわりしつくり来るような気
がして命名は「珊瑚」。
わたしたちにとって初めて迎え
る動物家族、犬に興味はあったも
のの実際に迎えるのはまだまだ先
だと思っていました。当時は町中

年齢別
マスター
ブック

Matter book which was
explained by age

この子の
一生。
Lifetime

ブラン

(4ヶ月・♂)

飼い主：あさみん

まだ4ヶ月のブランは、我が家で唯一の男の子です。それまで飼っていたのが2頭とも女の子(パニラ&ショコラ)だったので、「次は男の子がほしいね」と見に行ったとき、自分から近寄って来てくれたのがブラン。その瞬間、「この子だ!」と思いました。

天真爛漫なヤンチャ坊主のブランは、いつもビヨンビヨン跳ね回ってお姉ちゃんたちにちょっかいを出しますが、意外と内弁慶なところも。そのプリプリのお尻は、噛みつきたくなくらいかわいいです。いつまでも天真爛漫なまま、お姉ちゃんブヒと仲良くすごしてほしいですね。今は日々体が大きくなるので、食事量に気をつけています。「そんなに急いで成長しないで! ゆっくりでいいよ!」と思うほどです。大好きなブラン、我が家に来てくれてありがとう! あと、そろそろオシッコ外さないように頑張ってね(笑)。

ハリをつけることが大切です。

迎え入れてから1〜2週間くらいは夜鳴きをする子も多いでしょう。切ない声で鳴かれたら、かまいたくなりませんが、**「鳴く＝遊んでくれる」と覚えさせないように**気をつけてください。夜鳴きが止まらなくなったり、成長してからも要求吠えをするきっかけにもなつてきます。必ずというわけではないですが、ケージから出して遊んであげるのは、できるだけ子犬が落ち着いているときにしましょう。

フレンチブルドッグは骨格構成上、脊椎と四肢関節が強いほうではありません。遊び方の注意点としては、室内など、**床が滑りやすい環境だと関節に負担がかかるので**、滑らないように工夫してあげてください。グリップの利かない足場で遊ばせても、何ら運動にならないばかりか、かえって足腰を痛めたり、積み重ねによって関節疾患が悪化する可能性があります。たとえば、ボールを投げて回収させるような遊びは、ボールをキャッチする際に急ブレーキをかけるため、関節への負担が大きくなります。ソファや高い段差から飛び降りるのも同様です。また、子犬と成犬など体重差がある犬同士で遊んだりする場合は、**膝蓋骨への負担や脱臼の恐れもあるので**、激しく絡ませないようにしましょう。もちろん、神経質になりすぎる必要はありませんが、気をつけることでトラブル回避につながりますので

えておきましょう。そして遊びを終わりにするのも、子犬が飽きたり疲れたりする前に、飼い主さん主導で終わるようにしてあげてください。

そしてやはりこの時期に大切なのは「しつけ」です。しつけをする際は**「子犬に期待しすぎない」**、**「これを常に頭におくことがいちばん大切」**です。子犬を迎えて数週間、「子犬のしつけが上手くいかなくて、この先やっていく自信がない」「ケージやお部屋がオシッコやウンチまみれの毎日、いつまで続くのか不安で仕方ない」「周りの友だちの子犬や兄弟犬を迎えた人の子犬はしつけがすぐに入ったのに、ウチの子はいつまでたつても……」。フレンチブルドッグ人気に比例して、年々そういった方がとも増えています。しつけが思うようにいかないのは当たり前のことです。1〜2歳くらいまでは赤ちゃんみたいなものだからしつけが難しい。そのような気持ちでいることが、子犬にとっても飼い主さんにとっても健全です。しつけが上手いかわからないことで、**「あなたが不安になったりイライラしているのは、子犬にちゃんと伝わりますから」**気を付けてください。しつけが簡単に入った子と比べても何の意味もありません。なかなかしつけが入らないのも思うようにいかないのも、「ウチの子の個性」と思っただけでいい。その気持ちで頑張ってください。

それから、いちばん間違えやすいのがトイレのしつけです。これは私

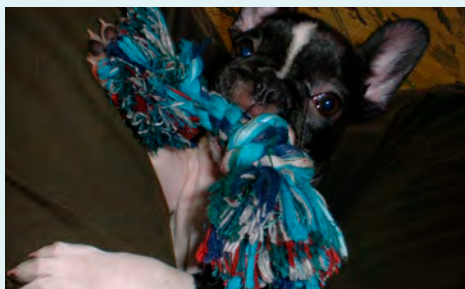
自身も、初めて迎えた子犬のときにすっかり失敗してしまいました。初日にケージから出して部屋で遊ばせていたときです。子犬が部屋の隅の絨毯の上でウンチをし始めたのを見つけて「ダメ！ ダメ！ ダメ！」と言い、ウンチを中断させてケージに入れました。その後も何度かオシッコ、ウンチを間違った場所でするたびに、「ダメ！ ダメ！ ダメ！」と言って同じ行動をとったのです。その行動がその後、数年間トイレのしつけに悩まされる原因になるとも知らずに……。結果、ウチの子は**「ウンチやオシッコをすること自体がダメ」と認識してしまったので**。そうすると、私が同じ空間にいる間はトイレを我慢するようにになります。私がいなくなった際にウンチをして、隠すために食糞をするようにもなりました。食糞は別の理由ですることはありますが、ウチの子はトイレをすること自体がダメ、という認識が強かったからだったと思っています。

トイレのしつけは人それぞれのやり方があると思いますが、私がその後迎えた2頭目からのしつけで成功した例としては、部屋で遊んでいて、床をクンクン嗅ぎ始めるトイレの動作が出たらケージに戻し、入り口を閉め、トイレシートで排泄するのを待ちます。無事に成功したら、その場ですぐにおやつを与えて大げさに褒めます。それからまたケージを開けて部屋で遊ばせる、という流

れを繰り返しました。そうすることで、部屋で遊んでいても、ケージに戻ってトイレシートの上で排泄すると、褒められておやつがもらえることを認識してくれるようになりました。もちろんすぐには上手くいきませんので、「子犬に期待しすぎない」ようにのんびり頑張ることが大切です。

お散歩デビューでは、ほとんどの場合、立ち尽くすだけで歩いてくれません。もし歩いてくれたとしても、初日から散歩と呼べるほどの距離は期待できないと思います。ただ、そんな場合も、無理にリードを引っばつて歩かせようとするのはやめましょう。子犬は骨格が完全にはでき上がっていないので、とても負担になってしまいます。歩かない場合は、子犬の少し前に行って子犬の名前を呼んだり、「おいで」と優しく声をかけ、ついてきたら大げさに褒めてあげましょう。歩かないからといってすぐに抱いてしまうのもよくありません。もし抱くのなら、家を出るときから抱いたまま50メートルくらいの場所を下ろし、家に向かって帰る方向に歩かせようとしてみるほうがいいでしょう。しつけ全般にいえることですが、**散歩も焦らず少しずつ慣らしながら距離を長くしていく**ようにしましょう。

成犬になると体重が平均してメスで9キロ前後、オスで12キロ前後になりますから、散歩での引く力も非常に強くなります。



を歩いているフレブルなんて見たこともなく、インターネットもやっと普及し始めた時代、ブログもまだなく、オーナーさんが開設しているホームページもひとつ、そんな時代でした。

みんな昔は初心者だった
10ヶ月の頃に初めてのオファ会に参加。今はなきニ子玉川のドッグランで、集まったのは20頭くらいだったでしょう。いつもインターネットで見るカッコイイ諸先輩方を見て、とてもワクワクしました。

いま思うと健康面もしつけの面でも大きなトラブルもなく、わりと順調に育ったほうですが、何しろ初めての仔犬育てだったので、なにかあるたびにオロオロあたふたしてペットショップに相談。珊瑚が若い頃わりと神経質だったのは、不慣れな育児によるものかな？と少し反省しています。

2回目のワクチンが終わってからお散歩デビュー。でも当時からクルマでのお出掛けのほうが好きで、窓から見える様々な景色に大興奮でした。



この子の
Lifetime
一生。



CAUTION!

●かまいすぎに注意。飼い主さん
主導でメリハリをつけて。●床が
滑りやすい場所には気をつけるこ
と。●子犬に期待しすぎない。



実はとっても大切な
子犬のときの『お手入れ』。

1歳

子

犬は生後6カ月から1歳くらいにかけて本格的に体ができ上がってきますから、この時期くらいから、**散歩時は飼い主さんの左側を並んで歩けるようにしつつ、あげることも大切です。**リーダーウォークの基本ですが、飼い主さん主導による歩き方を覚えさせるために、たとえば子犬が前に行こうとしたときに**飼い主さんがリードを引っ張るのではなく、向きを変えて歩き出します。**もちろん初めから上手くはいきませんが、それを何回も繰り返すうちに、飼い主さんを見ていないと違う方向に引かれることがわかりますので、自然とアイコンタクトがとれるようになります。いっしょに歩くようになります。子犬に感じてもらう、考えてもらうようにするのがコツです。



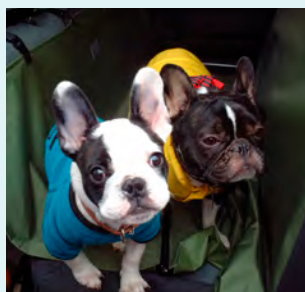
しましょう。スキンシップは子犬が遊び終わって落ち着いたときや、ごはんを食べたあと、のんびりしているときがいいと思います。嫌がることをしつこくすると、逆効果になるので気をつけてください。子犬にはグルーミングを楽しくて心地よいものだと思わせたいので、飼い主さんのほうも緊張せずにリラックスしてやりましょう。**爪切りや耳掃除もそうですが、基本的にトリミング台を使ったほうがスムーズです。**

爪切りを初めてやるときは、緊張するかもしれませんが、2人がかりでおこなうとよいと思います。1人はオヤツを口の近くにもっていき、舐めさせたりして、子犬が集中している間にもう1人が爪を切るといった感じです。爪切りをすると、爪の血管を切つてしまい血がでることもありますが、前もって止血剤を用意しておいてください。血が出るのを恐がって爪を伸ばし過ぎてしまうと、爪の血管もどんどん伸びて

別冊

17歳6ヶ月と
2日生きた、

珊瑚の物語



1歳

弟、ぼん太との出会いと別れ

海外旅行に出掛けるためにペットホテルに預けることに。しかしその日の朝、出かける前に珊瑚は玄関をすり抜けて脱走。300メートルほどで捕獲しましたが、いつもと様子が違つことに気づいたのかなと、ちよつと後ろめたい気持ちに……。5日後のお迎えのときはかなりの塩対応、ご飯も食べていなかったようでした。体重も1キロ減。珊瑚を置いて旅行に出たことを後悔し、それ以降、わが家の旅行は珊瑚同伴になりました。

2002年11月、弟犬ぼん太が登場。他の犬とあまり接したことのない神経質な珊瑚は、ぼん太のことが気になって気になって、食事もあり損りませんでした。次第に吐き戻すようになり医師の診断は急性胃腸炎。3日ほど入院したのですが、この入院で捨てられたと勘違いされても困ると思い、

年齢別
マスター
ブック

*Matter book which was
explained by age*

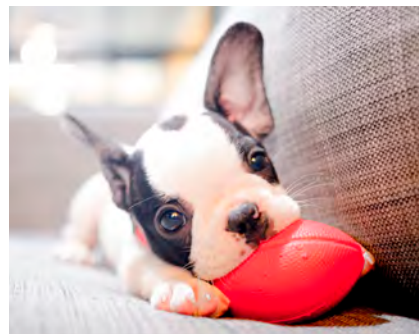
この子の
一生。
Lifetime

エティ (ETE)

(1歳8か月・♀)

飼い主：海老律子・実

一昨年、そのとき飼っていたフレンチブルドッグ「珊瑚」が手術翌日に突然亡くなってしまい、悲しみに暮れていたときにネットで見つけたのがエティです。すぐにブリーダーに会いに行き、その場でうちの子にすると決めました。エティはおてんばですが、どんな犬にもご挨拶できて遊び方も上手な子。人も大好きで、誰にでも懐きます。まだまだ若いので、とにかく元気いっぱい！ 主人が出張から帰ってくるときは駅までお迎えに行きますが、嬉しくて嬉しくて腰のあたりまでジャンプしています。完全にプヒ中毒の我が家。プヒの洋服は50着以上、リードと首輪は8セット、携帯の写真はワンコだけなんです。実は珊瑚もエティも私が産んだと思っているくらい、心から愛しい我が子です。だからこそ、健康で長生きして、幸せな一生をすごしてほしい。そのために食事は、朝は手作り食、夜はフードにトッピング。少しアトピーの症状があるので、食事には気をつけています。エティ、私たちの子どもになってくれてありがとう！ たくさんの癒しと幸せをもらっているよ。いつまでもいつまでも一緒にいようね。



しまい、長い状態で切っても血が出
てしまうようになります。他にも、
爪の伸びすぎは足と地面の接地面の
バランスを崩すことにつながります
から、犬の体重移動のバランスも崩
すことにつながります。足の指が横
を向いて変形してしまうこともある
ので、**子犬のうちからマメに短く保
つてあげるのがベスト**です。もし自
分でできないようなら、獣医師やト
リミングサロンで一度短く切っても
らってから挑戦してみてください。
耳掃除はコットンにイヤークロシ
ョンをつけ、耳の中を拭いていく感
じです。綿棒などを使って綺麗にし
たい場合は、動物病院に行ったとき
などに、綿棒の使い方のコツなどを
獣医師から教えていただいたほうが
いいと思います。わからないままや
ってしまつと、**逆に耳あかを奥に詰
め込んでしまつことになる**かもしれ
ませんので注意してください。
歯磨きもいろいろなブラシなどが
出ていますが、最初のうちはガーゼ

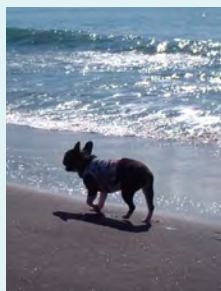
を指に巻き、歯磨き剤をつけて、子
犬の口に入れて磨いてあげれば大丈
夫だと思えます。慣れてきたらブラ
シを使って磨いてあげてください。
犬用の歯磨き剤はゆすぎずにそのま
ま食べても大丈夫です。**歯磨きは犬
にとつても大切な習慣**です。ほうっ
ておくとう歯周病になり、膿が出たり、
歯が抜けたり、内臓疾患を起こすこ
ともあります。歯周病の原因となる
歯石をつけないように、子犬の頃か
らケアしてあげたいところです。長
年かけてついた歯石は動物病院で除
去してもらうようにしましょう。
それから、この時期に動物病院に
行くと、かなり高い確率で、男の子
の去勢手術や女の子の避妊手術を勧
められると思います。去勢、避妊に
ついては獣医師や、去勢、避妊の経
験をされた方のお話をしっかり聞いて
検討してください。獣医師が勧
めるから、周りがみんなやっている
から、病気のリスクが減るからなど、
人それぞれ判断や決断する理由も違
うとは思いますが、メリット、デメ
リットをちゃんと理解したうえで、
きちんと悩んで決めていただけたら
と思います。これに関してはブリー
ダーに相談しても、去勢、避妊はし
なくていいとおっしゃる方がほとん
どではないかと思えます。ブリーダ
ーは繁殖するわけですから、当たり
前に聞こえるかもしれませんが、繁
殖しなくても、そもその自然の生
体の形を崩すべきではないと考えら
れている方が多いからです。

B



CAUTION!

●たくさんスキンシップをとり、
どこでも触らせてくれるようにす
る。●去勢・避妊手術のことをき
ちんと考えて、後悔しない選択を。



旅イヌ珊瑚のはじまり
ぼん太の死をきっかけに、珊瑚
への溺愛生活が始まります。しつ
け本でタブーとされていた同じ
ベッドで寝る習慣もこの頃から
これは生涯続きました。フルタイ
ム留守番生活の珊瑚は、若干分離
不安のことがありましたが、一
緒に寝ることで解消。日中ひとり
でいさせる代わりに土日も含めた
在宅時は出来る限り一緒に過ごす
ようになり、珊瑚中心の生活にな
りました。
ぼん太を亡くした喪失感を埋め
るため、2ヶ月連続の旅。珊瑚に
とっては初めてのお泊り旅でした
が、ドライブ中も宿でも珊瑚はお
おむねお利口さん。いま思えば、
これが「旅イヌ珊瑚」のはじまり。

医師の反対を押し切つて退院、自
宅に戻つてからは元通りの珊瑚に。
生後6ヶ月で旅立つた弟、ぼん太
2003年2月、ぼん太が生後
6ヶ月になる直前、3日ほどの闘
病で亡くなつてしまいました。パ
ルボウイルスでした。ワクチンは
3回接種していましたが、母親の
抗体が強すぎると効かないことが
ある……との医師の説明。
ぼん太が亡くなつてからの珊瑚
は急に大人びて、ひとり窓の外を
眺めることが多くなりました。で
も半年ほどで、もとのやんちゃな
珊瑚に。決して仲良くは見えませ
んでしたが、珊瑚なりにぼん太の
不在を悲しんでいたようです。

2歳

ここから長寿のための
下地を整える。



長

寿になるための下地の時期です。幼少期から2歳頃までの若犬期に、いかに良質な成長をしてきたかが大切です。犬の寿命は人間の6分の1程度ですから、サイクルが速いのです。悪い生活習慣はあつという間に悪い体質を作り、それがベースとなってしまいます。

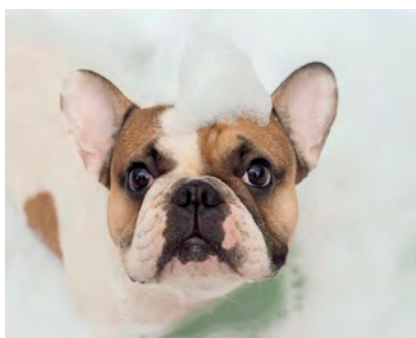
たとえば「うちの子は毎日何キロ走らせている」「ドッグランで何時間も遊ばせている」「ボール投げ運動を何往復させている」「夏には毎日泳がせている」、これらはフレンチにとって悪い運動ではありません。しかし、度が過ぎたら害でしかありません。他にも、高齢犬や幼犬、関節疾患の子に30分以上の長時間の散歩は虐待でしかありません。逆に、ウチの子は外に行きたがらないという理由で外気に触れさせない飼い方も、問題があります。

また、運動でストレス発散させるという考えの飼い主さんが多いですが、運動は健康を維持するための筋肉作り、並びに代謝の促進がメインです。ストレス発散にもなりますが、ストレス発散と疲れさせることは紙一重です。ストレス発散が目的であれば、運動とコミュニケーションを上手く組み合わせることで、きつと満足してくれると思います。良い組み合わせ例としては、リードを付けた引き運動+遊びを取り入れた自由運動+クールダウンを兼ねた語らいタイム。運動の締めは、身体や足をタオルで拭いてあげて、一緒に腰か

けてゆつくりされたいかがでしようか。愛犬も飼い主さんも満ち足りた気分になります。運動は「適度な量を継続的に」がポイントです。

シャンプーは冬場でしたら2〜3週間に1回、夏場でしたら1〜2週間に1回くらいのペースで洗ってあげるとよいと思います。必要以上の洗ひすぎは、皮膚の炎症につながることもあるので気をつけましょう。犬用のシャンプーを使い、爪を立てないように、指の腹でやさしくマッサージするように洗ってください。同時に肛門腺（肛門の左右の下に臭い分泌液がたまる部分）も絞

ってあげるようにしましょう。初心者の方で上手に絞れないようでしたら、動物病院などで絞りのコツを覚えてもらってください。コツを覚えてしまえば簡単に絞れるようになります。シャンプーのポイントとしては、注意書きに書いてある放置時間を守ることです。洗い流す際は、人肌程度のぬるま湯でおしりのほう



別冊

17歳6ヶ月と
2日生きた、

珊瑚の物語

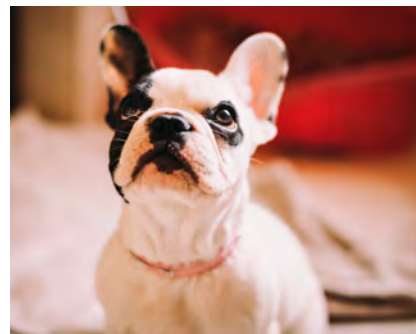


2歳

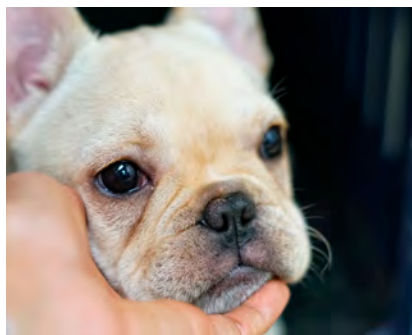
皮膚トラブルと避妊手術

2歳といえば、皮膚トラブルが出始めた頃。指の間を舐める、耳の後ろから首にかけて、お顔のシワのあたりもかき壊して血がにじんでしまうほど。かいたりなめたりを注意すると一度はかくのをガマン、でもガマンしきれなくて地団駄ふんでる姿は本当にかわいそうでした。アレルギー検査をしてアレルギーを取り除いた食事にしても良くならず、皮膚科を名乗る動物病院に通ってみても、いつこに良くなる気配はありません。皮膚に良いとされるドッグフードやオーガニックのものなど、インターネットで探しては試してみましたが、どれも芳しくなく暗中模索の日々でした。

2004年2月、避妊手術は2歳半を過ぎてから。もともと繁殖は考えていませんでしたが、全身麻酔と入院がいやでなんとなく先延ばしにしていました。でも当時お世話になっていた、手術好きの外科出身の先生に避妊手術をすれば皮膚も良くなるかも……と勧められて決断。



から徐々に流してあげてください。シャンプー剤が皮膚に残ると、かぶれたり、フケ、かゆみの原因になることもあるので、十分にすすいであげるようにしましょう。その後はタオルドライに時間をかけて念入りに拭いてあげること、ドライヤーの時間も短縮できます。ドライヤーは熱風でのやけどに気をつけて、生乾きにならないよう全身の根元まで乾かすようにします。顔の正面からあてると目をやけどしてしまうので、**温風が目にあたらないように、頭の上から低温の弱風をあてるように**してください。指の股も意識してちゃんと乾かすようにしましょう。子犬期はトイレシートの上で寝てしまったりすることも多いので、体が汚れたり臭いが付きやすい時期です。その都度シャンプーするのは大変なので、ホットタオルでマメに対応し、臭いが強くなってきたら洗ってあげてください。子犬期はとくに風邪など引かせたくないのです、冬場に洗う



場合は日中の暖かい時間にしてあげてください。
ブラッシングは、換毛期ですとラバーブラシ、アンダーコートコムなどを用いますが、普段はタオルで拭いたあとに、獣毛ブラシで毛の流れに沿ってブラッシングしてあげてください。スリッカーブラシ（細かいピンが並んでいるブラシ）は使用しないでください。**皮膚に細かい傷がつき、毛穴からばい菌が入ると毛膿炎や膿皮症になることもあります。**ポイント、必ずコートを湿らした状態でブラッシングすること。スプレータイプのコンディショナー、もしくは水でもかまいません。乾いた状態でおこなうと、滑りが悪いために、毛切れや皮膚が摩擦で傷つきます。また、湿っていたほうが無駄毛がまとまりやすく、処理がしやすいと思います。無駄毛が多くなると毛色が退色し、くすんだ色になってしまいますので、短毛種のブラッシングは大切です。



CAUTION!

●運動することはストレス発散になるが、疲れさせてしまうことと紙一重。●シャンプーは「放置時間」こそが大切と知る。



D O N

(2歳・♂)

飼い主：KAORI

20年前に雑誌で見たときからフレブルの虜になり、初めて迎えてから10年。DONは3兄弟の末っ子として迎えた子です。次男のKING☆がお空に行ってしまったときは、その悲しさを埋めてくれて本当に助けられました。DON、いつも笑いをありがとう。いつもほっこりした気持ちにさせてくれてありがとう。いつも私のことを見守ってくれてありがとう。いつも家族を好きでいてくれてありがとう。私たちもいつも、どんなDONも大好き！DONのいるいつもの日常に感謝です。

毎日毎日「かわいい」と言っているのに、冷静に何回言ってるかと考えると、自分は親バカだなと思います。外で写真を撮るときも、周りの目を気にせず「かわいい」と言いながら地面に這いつくばり……（笑）。一緒にいる時間が長いからか主人よりも私にべったりで、気づくと私と同じ枕で寝ています。

ワンコを飼い始めてからずっと手作り食ですが、DONは食物アレルギーで肉全般&お豆がダメなので、魚やお芋などで作っています。栄養が足りない部分はサプリメントやオイルも活用。またヘルニアの傾向もあるので、負担のない生活を心掛けています。健康面ではこれからどんなことが起こるかわかりません。前の子もそうでした。しかし、どんなことも受け止めて、最後まで最善を尽くしたいと思っています。そしてとにかく健康で、楽しい日々を送らせてあげたいです。

年齢別
マスター
ブック

*Master book which was
explained by age*

この子の
一生。
Lifetime



よい食べものと運動が、
よいからだをつくる。



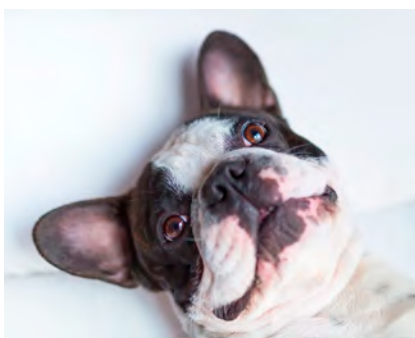
骨

の成長もそろそろ止まり、
全体的に力強くしっかりし
てくる頃です。成長期の頃よりもた
くさん運動してよいでしょう。散歩
の距離も延ばすなどして、筋肉を鍛
えてあげてください。筋肉ができて
くると、食欲も増し、ますます遅し
くなります。自由運動において、運
動機能が上がるとオーバーワークに
なりがちなので、程よいところで飼
い主さんが終了させてあげるよう
目配りをお忘れなく。食事内容はパ
ピー用からアダルトに切り替え、好
みに合ったトッピングでかまいませ
ん。ただし、過剰なトッピングには
気をつけてください。

フレンチブルは、夏は太りやすく
冬は痩せやすい犬種です。長毛犬は
寒さを感じると毛量を増やして身体
が対応しますが、アンダーコート
の少ない短毛犬は寒さを感じると燃焼
します。脂肪を使い果たすと痩せて
きてしまいます。痩せることは健康
的ですが、抵抗力も弱くなるので、
さまざまな病気にかかるリスクが高
まります。免疫性の腸炎が発症する
季節は冬場がほとんどです。夏場は
反対にカロリーが余りやすく、運動
量も落ちますので、肥満に気をつけ
てください。ただ、暑い季節に運動
を無理にさせるのは危険ですので、
食事でコントロールするのが基本で
す。私は夏季と冬季の食事内容をま
ったく違ったものにしていました。

ご飯の適量は年齢や個体差によっ
ても違います。ドッグフードのバッ

ケージの説明に、体重に対する適量
が書いてありますが、これはあくま
で目安としてください。毎日管理し
ている飼い主さんが状態を見極め
て、年齢や状態に対する適量を決め
るようにしましょう。一般的にわか
りやすい適量の目安は、子犬でも成
犬でも便の状態が判断できます。便
が緩ければご飯の量が多く、固けれ
ば少ないということです。見た目で
の肥満のチェックとしては、愛犬を
上から見た時に胴にくびれがあるこ
と、胸部を触ると肋骨が確認できる
ことです。胴にくびれがなく、肋骨
を触っても確認できないようでした
ら、肥満になりはじめてるので注
意してください。体重の計り方は、
飼い主さんが愛犬を抱いてあげた状
態で体重計に乗り、その後に飼い主
さんだけの体重を計り、引いた重さ
で確認する方法がよいと思います。



それから、よく人間が食べている
ものをついつい与えてしまう方がい
らっしゃいます。オスワリをしなが

別冊

17歳6ヶ月と
2日生きた、

珊瑚の物語



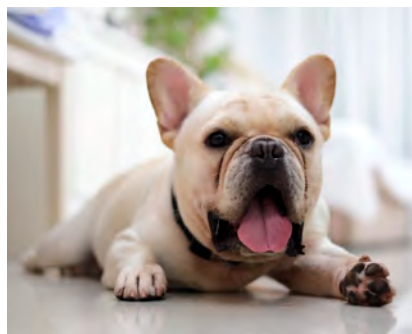
3歳

家族でハマったフレンチブル

3歳からは、キャンプにハマリ
始めた時期。旅館やホテルのよう
に気を使ってもなく珊瑚ののん
びり遊ばせてあげられて、時間
に制約のないスタイルがとても新鮮
でわたし達にはピッタリでした。
夫が当てた万馬券で道具を一式そ
ろえてもらって、毎月のように
キャンプへ。設営が終わったあと、
コトにいる珊瑚の寝息を聞きな
がら本を読んだり、お酒を飲ん
だり、のんびり過ごすのが極上の休
日に思えました。珊瑚をリュック
に入れて、自転車ですることも
も。リュックから顔をのぞかせて
景色を堪能する姿に、すれ違う人
たちもたくさん声をかけてくれま
した。

動物病院の転院と、乳腺切除手術

前年から始めた皮膚トラブル
は相変わらずで、動物医療やドッ
グフードの問題点などを特集した
本を読み漁り、免疫力アップに



ら可愛い顔で見つめられたら与えたくなくてしまふ気持ちは十分にわかれますが、長い目でみると愛犬の寿命を縮めることもありますので注意してください。そもそも人間と犬では摂取するものが違います。犬には塩分も糖分もあまり必要ありません。塩分の多い加工食品や、甘いお菓子などは肥満の原因になりますし、チョコレートの成分のカカオに含まれているテオブロミンは、神経を刺激して、発熱、嘔吐、下痢につながる場合があります。またネギ類（長ネギやタマネギなど）も大量に食べると中毒をおこし、血尿や下痢、嘔吐などの症状につながりますので、与えないように気をつけてください。とにかく、人間と犬では食べるものは別であるということを頭にいれて、犬にふさわしい食べ物を与えるようにしてください。

3歳くらいまでには留守番がちゃんとできる子に育てるのも大事なことです。溺愛するお気持ちは重々わ



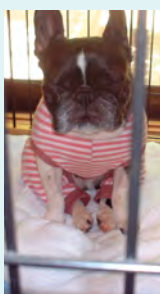
かりますが、度合いによっては分離不安になる可能性もあります。飼い主さんと離れたとたん、息遣いが荒くなり、よだれを垂らす、泣き叫ぶ、食事を拒否する、トイレをしない、これらは分離不安からくるものです。生涯、飼い主さんと離れるとさがないのでしたら構わないのですが、入院したり、ペットホテルなどに預けなくてはならないときが来るかもしれません。飼い主さんと離れられないような子だと、預かる側にとっても大変心配です。場合によっては預かりを断られることもあります。そして、愛犬を預けることになれば、おそらくクレートに入れられるわけですから、まずはクレートで寝ることを覚えさせてください。有事の際に安心して預けられるように、日頃からトレーニングしておくことが大切です。

B



CAUTION!

- 体重管理に気をつけること。● 犬にふさわしい食べものだけをあげる。● クレートトレーニングを心がける。



効果があるという炭水化物不使用の生馬肉フードを始めることに。即効性はないものの、徐々に手応えを感じました。でもお世話になっていた先生は民間療法に否定的で、ドッグフードは大手メーカーから出ている栄養分析がしっかりしているもの以外は認めない主義。食事で皮膚トラブルを解消したい、健康になつてもらいたいと願っていた私たちとは考え方が違っていたため、ペットジャーナリストの方に思い切ってメールをし、教えていただいたのが珊瑚が終生お世話になる先生でした。

転院後、2ヶ月ほどの投薬でひどい状態から脱することができました。その後、フレブル特有の膿皮症など、季節ごとの皮膚トラブルはありましたが、都度先生に相談し、シャンプーや投薬などで乗り越えて、シニアになってからの皮膚トラブルはあまり記憶にありません。

2005年4月、乳腺腫瘍の疑いで乳腺切除手術。かかりつけの先生から自宅近所の腫瘍専門医を紹介され、3泊の入院。その後病理検査で慢性化膿性炎症（脂肪織炎）と判明。避妊手術のとき血管を縛った糸に反応したのでは？とのこと。異変に気づいたのが自宅シャンプーのときだったため、やはり飼い主の日頃のチェックの重要性を再認識。これ以降、珊瑚の週1回のシャンプーはわが家のルーティンになりました。同時に、乳腺摘出の入院中に免疫異常からくるドライアイを指摘され、点眼を開始。



まさにフレンチブルドッグ 充実期の日々。

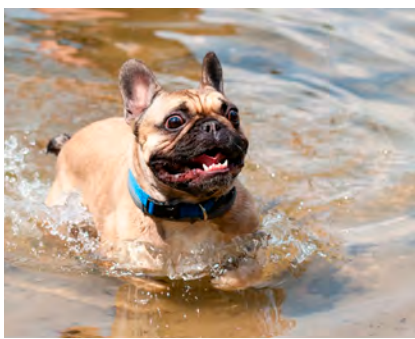


骨

格が完全にでき上がり、筋肉も発達し、体幅や胸深が

十分なまでになり、いちばん良い充実期です。精神的にも自信に満ち、落ち着く子はこの辺りの年齢からではないでしょうか。運動は健康体でしたらたっぷりさせてあげましょう。上り坂で負荷をかけた散歩などがおすすめです。下り坂で走らせるのは、肩や肘の関節に故障が発生することもあるので、避けるべき運動です。食事内容は特に変化はありませんが、充実期を過ぎたらこれまでもウエイトオーバーになりやすいので、様子を見ながらフードの量を加減したり、ローカロリーフードに変更してみるのもよいでしょう。ウエイトオーバーは、足腰の負担を考えると老後のためにも避けるべきです。

具体的にバランスよく筋肉を付ける方法を、あくまでも一般家庭向きの内容でお話しさせていただきます。まず、自由運動はもちろん大切です。



です。ストレス発散にもなりますし、全身に自然な筋肉が付きます。ただし、オーバーワークと事故を防ぐため、時間を決めて遊ぶ場所と相手を選んでください。さらに筋肉強化を図るのでしたら、リードを付けた引き運動（散歩）が最も効果的です。

自由運動はあくまでも犬自身の意思で疲れたら休み、連続した運動がありません。引き運動でしたら、目的地を決め、そこまでは休まずリズムカルな散歩をおこなうことで連続した運動になります。そして、目的地で自由にしてあげると、気晴らしにも運動後のストレッチにもなります。帰り道は寄り道してもいいですし、のんびりぶらぶら散歩してもかまいません。自由運動を散々したあとに引き運動をしてみようと、スタミナ切れで良い内容の引き運動になりませんから、順番を決めておこなってください。

そして、運動後に食事を摂らせ、たっぷり寝かせてあげることで、筋肉はより良く発達します。肝心な食事内容は、内臓が健康でアレルギーもない場合、秋冬は高タンパク、中脂肪。春夏は高タンパク、低脂肪が望ましいです。冬場に脂肪分が不足すると、皮膚のトラブルや抵抗力が低下します。夏場は前述のとおり、脂肪分を控えるべき犬種です。指の間や顔のシワの間を見て、赤みがあれば脂肪分の摂りすぎです。たんぱく質はオールシーズン、多く摂るべき犬種だと思います。筋肉質で丈夫

別冊

17歳6ヶ月と
2日生きた、
珊瑚の物語



4歳

プヒキャンプからの転換期

キャンプ道具も増え、クルマへの積み下ろしがおつくうになっていた時期。当時はステーションワゴンに乗っていたので、ワンボックス車への乗り換えを検討したときに、だったらいつぞ積み下ろし不要のバンコン（バンの車内を改造したキャンピングカー）もあり？と思い、なんの気なしに行ったキャンピングカーの展示会でハイエースのバンコンを勢いで予約。内金1万円でOKという土辺だけの手軽さと、珊瑚の「大人の買い物の付き合いは疲れるなあ」的な表情に押されてしまいました。

4歳で訪れたキャンプ場

西丹沢、富士すそ野、キャンピカぐりんば、PICA西湖、河口湖のペンション、千葉県勝浦市など、関東を中心に毎月のようにプヒキャンプを楽しみました。

年齢別
マスター
ブック

*Master book which was
explained by age*

この子の
一生。
Lifetime

ニニ

(4歳・♀)

飼い主・TME

当時小学生だった娘は、毎年毎年サンタさんに「犬がほしいです!」とリクエスト。でも命を飼うという選択にずっと踏み切れずにいました。やがて、娘が小4の冬。「犬飼うぞー!」と冗談で言ったはずが現実となり、イメトレをしにペットショップに行きました。「ふわふわのぬいぐるみみたいな犬♡(娘)」「俺は柴犬がいいな(主人)」「私はゴールデン♡(私)」と三者三様だった私たち。色々なわんちゃんを抱き、帰り際にふと目が合ったのがニコでした。何とも言えない表情がかわいいな～と思っていたら、娘も主人も「この子がいい!」(えっ、柴犬でもふわふわでもないけど……笑)。

その日は帰宅し、家族それぞれ色々な思いを巡らせ、3日目の夕方とうとう「迎えに行くぞー!」「また会えたら運命だー!」と閉店間際に駆け込みました。そして一緒に暮らしている今、「WE LOVE YOU!」。共にしわを重ね、共に笑って歳を取ってこうね。

最近チョロチョロ顔まわりに白毛が生えだしましたが、相変わらずのムニムニチムチ赤ちゃんボディー♡いつもいつまでも、娘の良い妹です。家族全員メロメロなので、ニコが寝ると奪い合いが勃発し、娘相手に本気で譲れないことも(笑)。家族と常に寄り添い、ゴハンを食べるときも並んで椅子に座り、何をするにも一緒のニコ。大好きなボール、大好きな家族、大好きな車の助手席……。大好きなモノ、大好きなヒトと、楽しい時間をたくさん笑ってすごしてほしいです。



な身体の元になりますから、たんばく質、アミノ酸は大切です。
ほとんどの飼い主さんが、ドライフードをメインに、そこにいろいろなトッピングやサプリメントなどの工夫をしていることでしょう。十犬十色ですから、これを食べさせればよいと一概には言えないので、注意点だけ述べていただきます。よく聞く、フードにササミや馬肉をトッピングしたり、精肉や野菜の単品のみをドライフードに添加することはあまりおすすめできません。食事はバランスが大切で、カルシウムとリンのバランスが崩れると骨に問題が起きやすくなります。肉類をトッピングするのであれば、骨ごと与えるか、生肉をベースに、総合食として加工されたものをドライフードに混ぜて与えるといいです。肉は生がベストで、新鮮なものが入手できるようでしたら、ぜひ生肉を与えることをおすすめします。馬、鶏、鹿、牛、臓物、いろいろありますが、効能が

それぞれ違いますので、それぞれに合ったものを与えましょう。年齢、体質（筋肉質または脂肪質）、アレルギーの有無など、どのような効果を期待しているかで個体によってトッピング内容も変わってきます。フレンチブルは食に執着のない子が多いので、その辺りも含めて、どのような食事内容にするか、楽しみながら作ってみるのもフレンチライフの楽しみかもしれません。
この時期はドッグランでの遊びも充実すると思います。しかし、他犬種の飼い主さんからフレンチの評価が低いことをご存知でしょうか？ドッグランで他犬に突っかかり、飼い主さんの制止や呼びかけも効かず、しつこくつきまとい行為をするフレンチブルが多いそうです。犬同士の喧嘩のきっかけになりますから、相手の飼い主さんにとっては不快なことです。他にもオス同士は一緒にできないとか、散歩中に他犬に吠えつく、引っぱり癖があり、コントロールが上手くできないといったこともあるようです。また、お出かけなどの環境の変化に対して、興奮しっぱなしになるフレンチもよく見かけます。これらはすべて、正しく社会性を身につけてこなかった、しつけをされてこなかった子です。本来、フレンチブルは陽気で温和な気質で、人間にも犬にもフレンドリーなはずですが、しかし、きちんとしつけをされていない子は、他犬との距離感や冷静にその場を分析する能力

が育ちません。そのような子は、空気を読めず、突発的な行動をしたり、興奮状態が持続する傾向が強いのです。
また、とにかく吠えやまないフレンチブルがいます。要求吠え、興奮吠えなど、好きなだけ吠えるわけです。これも飼主さんの責任だと思っています。血統的な気質も関係はありますが、過去の例で、人間に噛みつく子や他犬に突っ込んで行くような粗暴だった子でも、きちんとトレーニングすればマナーは入ります。
ご自分では自信がないと思われる飼い主さんは、プロの手を借りてもよいと思うのです。十数年一緒に暮らす中で、動物病院で治療しなければならぬことがあるかもしれません。しつけられた子とそうでない子とでは、治療の選択肢に違いが出る場合があります。獣医師としても、興奮しやすく神経質な子に医療行為を行うのはリスクがありますから、消極的にならざるを得ません。どの



ような場面でも、きちんとしつけられている子はスムーズな生活になるのです。家族同様の愛情を注ぐのはとても素敵なことです。決して擬人化しすぎはいけません。

B





この子の
Lifetime
一生。



CAUTION!

- 自由運動、食事、睡眠に気を使ってあげる。
- どんな子でもトレーニングすればマナーは入れられる。
- 擬人化しすぎないこと。



『暑さ』こそが、 フレンチブルドッグの天敵。



引

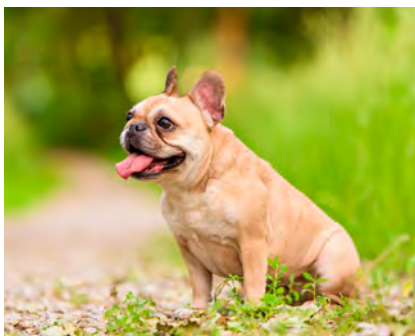
き続き充実期ですが、実はこの時期に気をつけたいのが、フレンチブルドッグのいちばんの天敵である熱中症です。熱中症自体はもちろん何歳でも気をつけなければならぬのですが、充実期はお散歩やお出かけも活発になるので、そのぶん熱中症の確率が上がります。もちろん、暑さに強い、弱いとは個体差がありますから、その子に合った限界を見極めることも大切です。

では、どのように個体差が出るのかですが、基本的に暑さに弱いと思われる個体は、鼻がよく濡れ鼻腔の狭い子、軟口蓋といわれる喉の奥の部分が生まれつき肥大している子（軟口蓋過長症）です。重度の場合は手術での治療が必要になります。そして肥満。この3点は呼吸がしづらいので、熱中症で呼吸困難に陥りやすいと言えます。暑さで急にパタンと倒れてしまうパターンです。睡眠時にいびきをかく子は気道がスムーズではないので、暑さに弱いと判断してよいでしょう。

もう一点、性格的なものが熱中症に影響することも多々あります。興奮しやすく多動傾向の強い子は、自ら体温を上げていきますから、オールシーズン注意が必要です。運動後は速やかに冷やし、興奮しない状況にしてあげてください。余熱で熱中症に進行することもあります。もし熱中症の傾向がありましたら、首、お腹、そ径部などに氷水に浸したタ

オルなどを当ててあげると効果的です。また、冷たい水を口の中にスプレーしてあげるのもよいでしょう。予防的には、暑い時期はクールベストを着させるのもおすすめです。熱中症の手前では、舌が巻き舌になり、眼をむき出したようになります。飼い主さんの呼びかけにも反応が鈍く、落ち着きがなくなります。倒れる一歩手前ですから、速やかにクールダウンさせてください。万が一倒れてしまった場合は、舌を喉の奥に巻き込まないように引っぱり出して気道を確保し、先ほどのように冷やした状態で病院へ運んでください。熱中症は命に関わりますし、後遺症が残ることもありますので、くれぐれも気をつけてください。

そして同じく、この充実期によく耳にするのがアレルギー疾患です。フレンチに限らず、犬は何らかのアレルギーを持っています。無症状のものから激しく症状を表すものまでさまざまです。アレルギー検査を受



別冊

17歳6ヶ月と
2日生きた、
珊瑚の物語



5歳

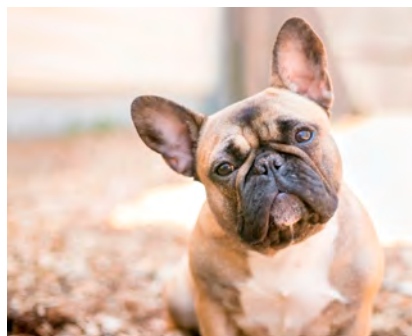
後悔したこと

ハイエースが来てからもしばらくはオートキャンプを楽しんでいました。それまでは旅先ではイマイチだった食欲も、徐々にしっかりと食べてくれるように。

また、このころから近所散歩に行きたがらなくなり、お散歩は週末に出先で歩かせる程度に。でもこれは、のちに大きく後悔することになります。シニアになってからの筋力の衰えは、日頃の運動不足が原因のひとつでした。

5歳で訪れたキャンプ場

ハイエースが来て初めて車中泊をしたのは、栃木県的那須塩原高原。3泊の車旅を満喫しました。その後も、九十九里浜や三浦海岸など関東を中心にキャンプを楽しむ日々。



けても、該当する項目が複数あつてなかなか原因を特定できない、といったパターンをよく耳にします。ここでは、私の知る範囲でフレンチブルによくあるアレルギー、症状などを書かせていただきます。まず思い浮かぶのが**食物アレルギー**ですが、肉類や穀物など、特定の食材に反応する場合と、ドライフードの脂分に反応している場合があります。食物アレルギーの場合、症状は主に腸炎、皮膚炎です。日常的な下痢、脱毛、痒みなどがあります。腸炎の症状がある場合は、脂分というより食材自体に原因がある場合がほとんどです。食事内容を変更するなどして合ったものを探すしかありません。脱毛や皮膚炎は食材がアレルギーになっっている場合もありますし、脂分で反応しているだけのケースも多いです。

判断が難しいのですが、まずは低脂肪のフードに切り替え様子を見て、改善されないようなら、**魚が主**

成分のフードにするのがよいと思います。それでもダメなら完全手作り食です。ただし、手作り食で正しい栄養価を摂取させるには飼い主さんの勉強が必要になります。

指間が赤くなっていたり、顔のシワの間、口元に赤みを帯びていたら、脂分が過ぎていると簡単に判断できます。また、夏場は脂分を必要としないので、予防として**夏場のフードを低脂肪にするのもよい**と思います。

食物以外のアレルギーでよくあるものは、**花粉と草木**です。決まった季節、または緑のある場所に行くと症状が出る。このような場合は何らかの草木や花粉に反応しています。症状は主に体を痒がる、眼を気にする、結膜炎や結膜浮腫になる。顔の皮膚がなんとなく腫れぼったくなり、厚みがあるように感じる。このような症状を持っている子は、**飲み薬と点眼薬を常備しておく**とよいです。

アレルギーは症状が重いと呼吸がしにくくなったり、ショック状態に陥ることもあるので、とりあえず投薬で症状を抑える必要があります。**アレルギーは炎症です。ステロイドが一番効果的です。長期常用する薬ではないですが、急性的なアレルギー症状の場合、ステロイドは即効性があり安全な薬だと思います。**



CAUTION!

●熱中症のことをあらためて学んでおく。●食物、そしてそれ以外のアレルギーを知り、正しく対応すること。





もう一度、
見直す時期。

6

歳



個 体差もありますが、充実期も後半になり、このあたりで愛犬にかかっているストレスなどについて、あらためて見直すのがよい時期かと思っています。ひとくちにストレスと言っても、さまざまな症状やサインがあり、原因も多岐にわたります。ストレスをゼロにする生活など、ルールの中で人間と暮らす以上、不可能なわけです。しかし、より居心地の良い環境作り、ストレスをできる限り与えないようにする努力は飼い主さんの義務でしょう。常時ストレスを抱える犬は、さまざまな病気や問題行動をおこし、寿命を縮めることさえあります。

犬がストレスを感じると、どのようなサインを表すのか、代表的なものをご紹介します。ストレスは一過性のもので日常的に加わるものがありますが、ストレスを継続して感じるとさまざまな病気や問題行動に繋がりますので、サインを見逃さず、できる限り原因を取り

除く工夫を飼い主さんがしてあげてください。

休息時に身体を舐める、
前歯（切歯）で噛む

特に前足の甲の部分や裏を、舐めたり小さく噛んだりします。飼い主さんが見ている時はしない子もいますが、前足の一部が変色していたり、脱毛していたら要注意です。アレルギーなどの皮膚疾患と思い込まれている犬の中に、実はストレス性の自傷行為である場合があります。

●対策としては、噛み心地のよい玩具を与える。丈夫で長持ちだけど、ほどほどに破壊されていく玩具を太は好みます。ポイントは日頃から与えている定番玩具とは別に、何種類か変わり種的な玩具も用意しておきます。留守番させる際には、変わり種を与えておけば、噛んでは寝て噛んでは寝てといった感じで間を持たせることができます。注意したり、舐めないように何か足に塗ったりすると余計に意識して逆効果になりますから、絶対にやめてください。強く注意しても、見ていないところで過剰にやるだけなので、ほとんど意味がありません。

多動傾向が強い、
興奮しやすい

生まれ持った気質、しつけの問題

別冊

17歳6ヶ月と
2日生きた、
珊瑚の物語



6歳

はじめての救急往診

2008年5月、晩ごはんがうれしくて飛び上がったものの着地に失敗。アレっという表情のあと、しばらくするとキュウキュウ泣いて震え始めました……。夜8時過ぎだったので、初めて救急の往診を頼みました。応急処置的な投薬と往診費用で2万円。ペット保険のありがたさをあらためて実感しました。

翌日かかりつけの病院でレントゲンを撮るも、真つ暗なレントゲン室にパニックになった珊瑚が途中で動いてしまい、肝心なところがピンぼけ。でもヘルニアか変形性脊椎症だろうということで、投

年齢別
マスター
ブック

*Master book which was
explained by age*

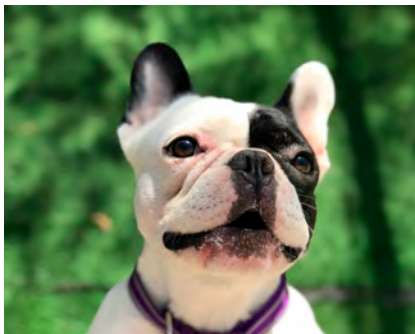
この子の
一生。
Lifetime

シヨコラ

(6歳・♀)

飼い主：あさみん

我が家の次女シヨコラは、勝気で要領がいい甘えん坊。もうすぐ7歳になりますが活発で、そのヤンチャぶりには手がかります。でもそこがかわいいんですね(笑)。また弟(ブラン)の面倒見が良く、姉らしい一面も持っています。シヨコラは主人の一目惚れでした。ちょうど長女パニラに兄弟がほしいと思っていた頃で、あまりの小ささに迎え入れることをすぐ決めてしまいました。小さい頃から腰が悪いので、激しい運動や跳びはねことはなるべくしないように。体重もすぐ落ちてしまうので、食事量も気をつけています。これからシニア期を迎えますが、とにかく腰が悪化しないように、そして健康に楽しくすごしてほしいですね。パニラにもシヨコラにも、わがままに、ゆったりと思い通りに生きてほしいと願っています。我が家に来てくれてありがとうございます！大好きだよ、シヨコラ！



●対策としては、まず肉体的な欲求は満たされているか考えてみてください。食事は足りているか、運動不足になっていないか、成熟したオスの場合は発情の問題もあります。過度の食事と運動は絶対にいけません。が、年齢に合わせた最適な量を心がけてください。食事運動も、足りていないと粗暴な行動になりがちです。また、未去勢のオスのストレスはかなり大きいとお考えください。家庭犬として飼われている飼い主さんができることは、発情期のメスに近づけない、去勢手術を受けることです。去勢手術に関しては、いろいろな意見がありますから、個々に決められるとよいと思います。他にも

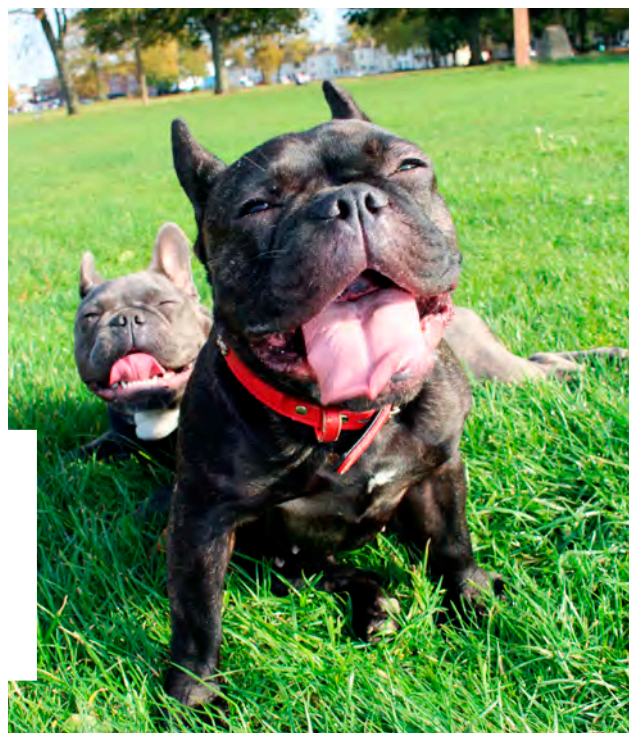
など、さまざまな原因が考えられますが、日常的にストレスがかかっている、安定しない振る舞いをしてしまうケースが多々あります。改善されると思えるくらい落ち着いて、顔つきまで変わります。

スキンシップ不足や、寂しさから興奮しやすくなってしまう場合があります。家族と接する時間がなくなった、寝床が移動した、新しい犬が来た、家族に子どもが増えたなど、環境の変化によってストレスを感じると、テンションが安定しなくなり、飼い主さんへの当てつけのような態度を示す子がいいます。環境の変化に慣れてもらえないのですが、犬が増えた場合は、先住犬への気遣いを忘れないであげて欲しいです。そして、毎日たっぷりスキンシップをしてあげてください。フレンチはとても嫉妬深いです。使役犬種ではないので、孤独は大変苦手です。

あくびをする

飼い主さんが話しかけたり目を合わせ続けると、あくびを頻発させる。これは飼い主さんとの関わりに不安を感じているケースです。また何か叱られるのかな、機嫌が悪いのかなといった、飼い主さんが語りかけることに對して主にマイナスイメージを持つているためです。あくびは緊張感をほぐす場合にもよくする行動です。外出時や嫌な場面でも同様にあくびをよくしますが、緊張から行うあくびは一過性ですので、それほど問題にしないでよいでしょう。

●対策としては、シンプルなことで、飼い主さんとの関係を見直してみてください。犬にブレッシャー



を与える存在ではなく、たまたま愛されるリーダーになれたら、きつと犬のリアクションはキラキラすると思います。声をかけてもらえたり、見てくれていることは、本来、犬にとって幸せしかありません。まず飼い主さんが考えてあげるのは、その子の性格を知ることです。それが関係を良くする基本だと思います。自分は飼い主だから性格を知らないはずがない、と思い込んでいても、あらためて考え直してみてもいいのではないでしょうか。シャイな子、天真爛漫な子、気位の高い子、消極的な子、十犬十色というくらいですから、性格を深くまで見極めて接してあげれば、犬にとって飼い主さんは最も安心できる存在になれるでしょう。

B



CAUTION!

●ストレスについて●食物、そしてそれ以外のアレルギーを知り、正しく対応すること。



薬とケージレストを開始し、3日ほどで痛みおさまったようでした。同時に、そろそろシニア期になりかけた珊瑚のために、滑りにくく段差の少ない環境へと見直すことに。

無理をせずにキャンプを楽しむ
腰痛発症から10日ほどして、初めての車中泊旅。本当なら4泊5日の予定が、珊瑚の腰痛発作が再発したため、1日遅れの出発。一時は中止も検討しましたが、かかりつけの先生の「長く付き合っていく病気だから……」という言葉に後押しされ、無理をしないことを条件に出発のお許しをいただきました。

今はスマホのおかげで事前リサーチなしでも旅先で困ることは少ないですが、当時はガイドブックだけが頼り。車中泊地も入浴施設付きの道の駅が第一候補でした。この日程でよくこんなに戻ったなと思うくらい、だいぶ欲張りな旅となりました。途中で台風が北上してきたこともあり、避けるようにムダに移動距離が長くなったことを今でも覚えています。



この子の
Lifetime
一生。